



地域の明日を医療で支える
地方独立行政法人 長野県立病院機構

しるくま



長野県立こども病院

わたし達は、未来を担うこども達のために、質が高く、安全な医療を行います。

No.47
2017.1.13発行

ニュースレター



長野県立こども病院だより第47号 発行日：2017年1月13日 発行者：原田 順和
〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100 TEL0263-73-6700 FAX0263-73-5432
<http://nagano-child.jp/> ☐ kodomo@pref-nagano-hosp.jp



Contents

新年のご挨拶	1
「この人に聞く」	2
PICU増床コラム	4
プレパレーションチームの紹介	5
楽しかったね 院内学級展	6
「ヘッドネーション」を知っていますか?	7
ハロウィーン	7
マンダリンのコンサートがありました	8
栄養科通信	8
私のお気に入り	9
今年もよろしく願い申し上げます	10
編集後記	10
長野県立こども病院寄附プログラム	11



長野県立こども病院理念

わたし達は、未来を担うこども達のために、
質が高く、安全な医療を行います。

撮影：大畑淳

新年のご挨拶

病院長 原田順和



皆様、あけましておめでとうございます。平成29年の年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。

さて、長野県立こども病院では、未来をになうこども達のために、“質が高く安全な医療を行います”という理念のもとに、職員一同、力を合わせて努力してまいりました。昨年度より開始された懸案の小児集中治療室（PICU）の増床工事が進捗し、この8月には完成し、9月より運用開始の予定です。重症病床の不足により、予定手術の延期、重症小児患者の受け入れ困難などが解消され、県内とその周辺地域の集中治療を必要とするこども達にとっての福音になると確信しています。

また、昨年11月の末には、電子カルテの更新事業が完了し、より効率的な医療情報の管理や、それに基づく各職種間での情報の共有など、病院運営に寄与するものと期待しています。病院内の医療情報などの電子情報の管理に関しては、電子カルテベンダーなどに左右されない専門知識を持った独自の人材の確保が難しく、院内での人材育成など、克服していかなければならない課題の一つだと思っています。

県民の皆様をはじめ、多くの方々にもこども病院を応援していただこうと考えて、一昨年から寄附プログラムを発足させました。予想もしていないような多くの方々から寄附

が寄せられ、病院内で行いたい多くの事業を進めていくことができるようになったことは、職員一同の大きな喜びです。その中の一つに、第一病棟に隣接した緩和ケア病室の新設があります。これにより、緩和ケアを必要とする患者さんとそのご家族の療育環境の向上に役立つことができれば幸いです。また、40万キロを走破したドクターカーの更新事業についても、クラウドファンディングなどのさまざまな手法を利用して、進めているところです。多くの皆様方に支えられたこども病院の実現に向けて、より一層の努力をしたいと思っています。

社会の動きに目を向けると、もうすでに始まった少子高齢化に伴う人口減少社会の問題が大きく立ちはだかっています。団塊の世代が後期高齢者となる2025年が一つの大きな節目になると政府は考え、対策を打ち出していますが、少子化対策に実効のある政策はまだ不足しています。こども病院の開設当初は22,000人の出生があった県内でも、昨年は、17,000人を下回る数となり、こども病院の運営上の大きな問題となっています。今年は、こうした社会情勢にも適切に適応しながらこども病院の進む方向を決めていくことが求められる難しい年になると思います。

どうか、今年も変わらぬ皆様方からのご指導、ご鞭撻をいただければ幸いです。

平成29年が皆様にとって良い年になることを祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新春特別号に登場していただくのは産科部長の吉田志朗先生です。「この人に聞く」も連載一周年という節目になり、いつもより長めのインタビュー掲載となりました。外見からはうかがいしれない吉田先生の内面がじっくり語られていますので、是非ともご一読ください。

～運命のめぐり合わせでこども病院へ～

編) こども病院に来られた経緯を教えてください。

吉) 実は若い頃にもこちらの病院で勤務したことがあるんですよ(2004年12月～2006年3月)。そのときは単純に大学の人事だったんですけどね。僕は産婦人科の中でも産科専門を目指していたから、まあ、長野に行って勉強して来いということだったんだと思います。実際、期待以上に勉強になりました。ここの歴代部長の海野先生、菊池先生には大学の研修医時代から本当にお世話になりました。でも、まさか自分が目標にしていたその人たちの跡を継いで僕がここの部長になるとは。いや～運命の巡り合わせっていうのはわからないもんですね。

～部下を信じなかったら上司じゃない～

吉) 部長として、僕の部下に対する信念は「信じること、待つこと、逃げないこと」この3つなんです。自分の下にいる若い連中を信じなかったらやっぱり部長じゃないですよ。まず部下に任せてみる姿勢を持っていたいんです。彼らを信じるのができれば待つこともできる。じっと待ちます。信じた結果が悪い方に行ってしまったときは、それは上司である僕の責任なので部下のせいにはしない。これが逃げない、です。僕がそういう姿勢を貫けば、彼らも何かを感じてくれるんじゃないかと期待しています。

～武蔵野の面影が残る埼玉で育って～

編) 先生のご出身も含め、何か地元の思い出など教えてください。

吉) 生まれは東京で、育ちは埼玉なんですよ。

編) では地元は埼玉ということになりますか？

吉) そうですね。思い出か…うーん、特徴が無いところだからね、埼玉って(苦笑)。でも、僕が小さいころは武蔵野の面影がまだ残っていてね、雑木林とかススキの原っぱが周囲にたくさんあったから、そういう所でよく遊んでました。

～天の声を聞いて医師を目指す～

編) 先生が医師を目指すと思ったのはいつ頃からでしょうか。

吉) 医薬品を扱う会社に勤務していた父の仕事の関係で、家に薬箱や応急処置の本なんかがたくさんあったんだよね。僕が4、5歳のときの愛読書が「応急処置Q&A」(笑)。それから小学校一年くらいのときに、深夜テレビのドキュメンタリーで心臓の手術をやっている映像を見てね。「うわ気持ち悪いな～」と思って見ていたんだけど、僕は画面から目が離せなくなっちゃって。そしたらどこから「お前は将来この仕事をやるんだぞ」っていう声が聞こえてきてさ。天の声を聞いてしまったわけだよ(笑)。医者になろうと思ったのはそこからかな。

～基礎医学の研究者になるはずが…～

編) 産科の道へ進まれた経緯をぜひ教えてください。

吉)僕は元々基礎医学がやりたかった。研究者になりたかったんですよ。高校の時に有機化学にハマって、僕は将来ベンゼン環で飯を食っていくんだって思ってた(笑)。ところが大学2年くらいに基礎医学系の実験があったんだけど、実験の待ち時間がほんとう～に辛くて(笑)、学食行ったりして時間潰している自分に気づいて「これはいけない、俺は基礎系に行ったらダメな人間になる」と思ったのね。

～診断から治療まで全部自分でできる診療科、

それが産婦人科だった～

吉) 世の中には病気で学校にも行けない、普通の生活が難しい、そういう子ども達がいっぱいいるじゃないですか。その子たちがもし死と直面することになったら、生まれてきて良かったとか、楽しかったかと思えるのかなって考えたとき、それが病のせいだというならば、僕はその病を治す方に進もうと決めました。

それともう一つ、内科と外科の両面で最初から最後まで通して診たかった。最初に自分が診て診断をつける。必要な治療は全部自分がやる。それができて子供に関われる診療科はどこかなって考えたら産婦人科だったんですよ。

～蔵書7,000冊の読書家～

編) 噂によるとかなりの多趣味(マニア)とうかがっていますが、真偽の程は…？

吉) 漢文は毎日読んでますよ。

編) 毎日ですか！

吉) 元々読書が好きで、本はだいたい7,000冊くらい持っているかな。だから受験勉強も文系科目がすごく好きで、その頃から受験の漢文とか楽しいな～と思いながら読んでた。

～研究に疲れて漱石に出会う～

吉) 医者になって大学院行ったとき、実験に行き詰った時期があってね。実験上手くないかないし、論文書けないし。



超音波検査をしながら説明しています



回診風景

それである時、大学行こうと思って家を出たんだけど、途中で研究室に行くのが本当に嫌になっちゃってね。神保町に寄り道してひたすら古本を漁り、喫茶店で買った古本を読みながら「これからどうしようかな〜」って途方にくれたりして。それがもう毎日（笑）。そんなとき、夏目漱石にハマったんです。全集買ったりして、作品はほとんど読みました。

～危険物、毒物劇物、火薬類取扱いの資格3点セット～

編）資格取得も趣味だそうですか…。

吉）今の狙いは危険物取扱い、毒物劇物取扱い、火薬類取扱い資格、この3点セットです。化学系の資格はやっぱり取りたいなと思っているんですよ。だって資格の問題集とか解いてみると解けちゃうんだよ、これが（笑）。

～「お前、いまだき変わってるな」～

編）研修医時代のご苦労を是非教えて頂けますか。

吉）うーん、研修医時代か。僕は群馬大学を卒業して東大産婦人科に入局したわけですが、当時の産婦人科医局長が海野先生（こども病院の初代産科部長）で、「君は将来どんな道に進みたいの」って聞かれたんです。僕は「死にそんな妊婦を助けたい、胎児を生かしたい」って答えたんですよ。そしたら海野先生もそれが専門なのに「お前、いまだき変わってるな」って（笑）。その頃は知識不足で判断を間違えたりして、医者辞めようかなって思ったこともありました。でも「まだ一年目なんだから、君が全部判断できるわけない。これを教訓にして前向いて進め。」と言ってくれた先生がいて、今は東大の教授です。その一言があったから「ああ、まだ頑張ろう」と思いました。そして今に

至ります。

～お母さんがこども病院に紹介されるのは

ショックだと思うんです～

編）当院の産科でやりがいに感じていることは何ですか？
吉）うちの病院の特質は子供を診る病院ということだよ。胎児も含めて。県全体の中で頼りにされているなど感じるの、僕らもそれに応えなきゃという気持ちはいつもあります。それから、お母さんたちが「赤ちゃんに何か病気があるかもしれない」と言われてこども病院に紹介されるってことはショックだと思うんですよ。そんなときどう寄り添っていくのか、医師として正確な診断と情報を提供して、子供が生まれたあと家族がどうなっていくのか、という部分まで含めてしっかり話をして支えていく、こんな信念でやっています。

～最初は医者だと思ってもらえない？～

編）先生が譲れないことは何でしょうか。

吉）譲れないことは、回診の時に患者さんとすごくどうでもいい話をする（笑）。「花粉症にはこのティッシュだよ〜」とか、「ニベアっていいよね〜」とか（笑）。なぜかという、真面目な話は主治医とたくさんしていますからね。だから僕は、せめて気分転換になるようにどうでもいい話をします。ただ、どうでもいいことを話し過ぎて、最初は医者だと思ってもらえないことが多々ありますね（笑）。白衣も着てないから、事務の人だと思われちゃうみたいで…（苦笑）。



「花粉症にはこのティッシュだよね～」

～胎児のスペシャリストを期待される～

編) 先生が今、後輩や若い世代の方に伝えたいことはありますか。

吉) そうですね…あまり偉そうなことを言うつもりはないんですけど。この病院の産科に来る医者は胎児のスペシャリストになることを期待されているわけで、将来は胎児を専門とする責任ある立場に立たされることになるだろうと思います。だから、若い医師にはそのつもりで仕事や勉強をしていって欲しいと思います。

編) お忙しいところ、お時間をいただきましてありがとうございました。

インタビュー：赤羽純恵 神田莉沙 平林富子 西沢博子

PICU増床コラム

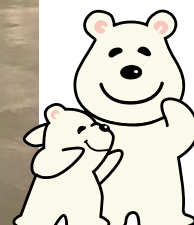
小児集中治療科 部長 松井彦郎

いよいよ新しいPICUの骨格がみえてきました。基礎から鉄骨がたち、新しいフロアがみえてきました。屋上からみえるアルプスも美しいです。これから壁ができ、内装を整えていくことになります。2月終わりには新しい増築棟

が完成し、3月中旬に今のPICUから増築棟に引っ越しとなります。その後は既存のPICUの改修になりますので、その間の数ヶ月は2階の家族ラウンジが使用できなくなります。皆様の御協力宜しくお願いします。



Nagano Children's Hospital
Pediatric Intensive Care Unit
Better Future for Kids and Families



プレパレーションチームの紹介

療育支援部
チャイルド・ライフ・スペシャリスト 塩崎暁子

ー病気や治療に向き合う子ども達のことを支えますー



～チーム紹介～

メンバーは、院内の多部門・多職種から集まり構成されています。毎年少しずつメンバーの入れ替えがあるのですが、「子ども達に安心して医療を受けてもらうためにはどうしたらいいか」と真剣に考えている心強い仲間たちです。月1回のミーティングに集まり、多職種間の連携や、各病棟の取り組みの工夫、当院ホームページの子ども用ページ(11月現在)の内容を話しあったりしています。また、一昨年から不定期ではありますが、オープンセミナーとして院内のスタッフに向け勉強会を開いています。

～子どもの目線に立ってみよう～

こども病院で精一杯がんばる子ども達だからこそ、不安を抱え込

んで欲しくはありません。

プレパレーションというテーマがあると「CLS（チャイルド・ライフ・スペシャリスト）が説明してね。」と言われることが多いのです。しかし、今回はチームの紹介ということなので、プレパレーションというアプローチ方法が、個人プレイではなくチームワークだということをお伝えするいいチャンスだと思い、書かせていただきます。

～ところで…プレパレーションってなあに？～

いわゆるカタカナ語ではありますが、おそろしく難解ではありません。また、特別なテクニックが必要なものでもないとお伝えしたいと思います。

知らないことに直面すると大人でも不安になります。ましてや知識の少ない子ども達であればなおさらです。プレパレーション（直訳すると準備とか調整の意味）とは、たとえば子ども達が治療や検査を受けることになったとき、その子に合わせた説明をしてこころの準備をしたり、自分の病気やこれから受けることになる治療について、その子なりに正しく理解できるよう支えていく援助です。また、どうすれば子ども達が健やかに成長・発達していくか、情報発信もしています。

んで欲しくはありません。

入院して経験することになる治療や検査は、私達医療者には当たり前でも、子ども達にとっては知らないことばかりです。「レントゲンってどんな検査？」「手術室ってどんなところ？」「先生が言ってたサイケツって何？注射？」「このお薬は苦いのかな？」…看護師や薬剤師、CLSは、子ども達が知りたい内容を適切な情報量で分かりやすく説明するためのパンフレットやモデルを使って説明をします。「入院病棟に行くまでのエレベーターに、少しでも笑顔になれる工夫ができればいいな」と保育士が装飾を作ったりもします。メンバーそれぞれの職種の視点を大切にしながら、相談して進めることも多々あります。

一つひとつの活動はあまり目立たないかもしれませんが。しかし小さな積み重ねが、子ども達の医療に対する前向きさを引き出すお手伝いになると信じています。また、1人ひとりのお子さんがその子らしく「私、こんな治療を乗り越えてきたんだよ！」と言えるお手伝いができたらいいなと思っています。

～おわりに～

私達のチームのこと少し知っていただけましたか？他の病院では、あまり見かけないチームだと思いますが、私たちができることを少しずつ頑張っていこうと思っています。



デジカメワークショップ制作風景

11月20日（日）、21日（月）、院内学級展が開かれました。

毎年、この時期に院内学級が開いている小さな文化祭です。病院内の多くの方々に院内学級の様子を知っていただくとともに、日曜参観・保護者懇談会を兼ねての行事です。来年のカレンダーの販売もこの時期に合わせて開始しています。

～習字～

20日の午前中は、お習字の講座を開きました。主に院内学級の小学生が参加し、ミニ色紙に書きました。病棟のお友達にも声をかけ、まだ学校に入学していない小さなお友達も参加してくれました。

ICU前の廊下には児童・生徒の習字作品も展示しました。

～デジカメワークショップ～

20日の午後は、デジカメワークショップが開かれました。デジカメを使って親子でお互いに写真を取り合い、加工・装飾をしてスクラップブッキング（1枚アルバム）を作りました。

最初は照れくさかったようですが、時間がたつと慣れた手つきで制作も進みました。院内学級関係者以外の方も参加していただき、全部で19名もの人で、院内学級はとても賑やかでした。

～アドベントカレンダーづくり～

21日の午前中は、長野県信濃美術館の学芸員さんが見

えられ、「アドベントカレンダーづくり」をしました。「アドベントカレンダー」とは、クリスマスまでのカウントダウンカレンダーのことです。

東山魁夷さんの作品をモチーフに、独創的な作品が仕上がりました。

院内学級展に参加していただいた方々・見に来てくださった方々、ありがとうございました。普段なかなかお会いする機会のない保護者の方ともゆっくりお話できました。

来年度も開催予定ですので、是非一緒にいろいろな講座に参加してください。



アドベントカレンダー制作中



ミニ色紙

「ヘアドネーション」を知っていますか？

平林富子

～“医療用かつら”には長い髪が必要です～



美容師の皆さん

「ヘアドネーション」とはフルオーダーメイドの医療用ウィッグ（かつら）の材料になる髪の毛を寄附することです。ウィッグ用には髪の毛の長さが31センチ以上であること、さらにひとつのウィッグに約30人の毛束が必要になります。

松本市の美容室から毎月1回、入院中でなかなか髪を切ることができない子ども達のために、ボランティアでヘアカットに来てくれています。今回入院中のお子さんがこの

「ヘアドネーション」に参加しました。お母さんは「医療用かつらのことは前から知っていました。私自身たくさんの方に助けていただいたので、誰かのお役に立てればと思い寄付させていただきました。また髪を伸ばして協力したいです。」とお話してくださいました。

美容師の方にうかがうと、「こども病院でヘアドネーションをしたのは今回が初めてです。今まで15人程の方にご協力いただいています。」とのことでした。

興味のある方はNPO法人JHDACのホームページ (<http://www.jhdac.org/>) をご覧ください。



こんな感じで素敵なショートヘアになりました

ハロウィーン

西沢博子

院長室・看護部長室・事務室などに楽しそうな声が響いています。

「お菓子くれないと暴れちゃうぞー」 2病棟のかわいいおばけが、院長、看護部長、事務部のみなさんからお菓子ももらっていました。お菓子は、なんと保育士さん手作りのチョコレート型メモ帳です。たくさんもらったお菓子（メモ帳など）で、お店屋さんごっこをして遊ぶのだそうです。楽しそうですね。

各病棟では、飾り付けをしたりワンポイント仮装をして患者さんやご家族のみなさんとハロウィーンを楽しみました。

こんなところにも“ハロウィーン” ▶



院長室の前は大行列です



病棟廊下の飾りつけ



“trick or treat” 小さな魔女が…

マンドリンのコンサートがありました

12月6日、遠く千曲市から県立屋代高校ギター・マンドリン班の生徒さんが来院して、マンドリン・ギター・コントラバス・総勢18人編成でコンサートを開いてくださいました。

演奏曲は誰でもよく知っている『さんぽ』など3曲。アンコールにも応えてくださいました。

患者さんや付き添いのご家族、病院スタッフ、合わせて55人が、柔らかい音色に包まれて楽しいひとときを過ごしました。



栄養科通信 第12回

新年明けましておめでとうございます！皆さまお正月はいかがでしたか？

栄養科ではいつも季節を感じることができるようなメニューを考えていますが、地元を感じる「おやきバイキング」も行いました。もちろんそれ以外にも焼きたてのパンバイキングや、七五三にも特別なメニューを用意しました。

ところで…ときどき栄養科通信の写真にメッセージカードが写っていることお気づきですか？このメッセージカードは栄養科のスタッフが毎回アイデアを出しあって作っています。もし気になったら…バックナンバーを探してみてください☆



おやき
バイキング



パン
バイキング



七五三
メニュー

メッセージ
カード



新連載

私のお気に入り

薬剤科 赤羽純恵

私の好きなこと。色んな場所へ行くこと。別名、『一人‘無茶’旅』。

今回は数年に1回訪れる奈良・京都の風景です。

～奈良～



・唐招提寺、教科書通りの写真が撮れました。ヤッター！



・平城宮跡はとことん大きくてとことん広い。それが証拠に跡地を近鉄線が走ってるし、その先の第一次大極殿まで遠い…。撮り鉄じゃないので、電車は分かりませんが。



・石舞台古墳。まさか中に入れるとは思わなかったです。あ～ビックリ。

～京都～

・紅葉の名所、永観堂。あいにくの雨だけど紅葉がきれいでした。▶
・高台寺のライトアップでは池にもぼんやり影が写っていました。今年はプロジェクションマッピングもやっていました。▼



・伏見稲荷大社。よく雑誌に出てるのは朱色の建物や、この千本鳥居。でもまだ先があって、一周することができます。お山の上は朱色と違った世界です。

～おまけ～

方向性は違うけどZUMBAもお気に入りだったりします。仲間と楽しくやっています。



*新連載「私のお気に入り」は、病院職員が本業の次に(?)力を入れている趣味の世界(旅行、コレクション、芸術、スポーツ等々)を紹介する企画です。次は誰からどんな話題が飛び出すか、乞うご期待。

今年もよろしく願い申し上げます

——— しろくまニュースレター編集部 ———

迎春 いよいよ新しい年が始まりました。どんなお正月を過ごされましたか？

本年も「しろくまニュースレター」は“読みやすさ”と“旬の情報”をお届けすることを目標に編集・発行してまいります。記事に編集委員の独断と思い入れが多少（かなり？）入ることはお許しいただくとして、怪しげな裏情報の暴露を売りにする某メディアとは一線を画しておりますので、取材される方も読者の皆様も安心しておつきあい願いたいと思います。

さて、今回から新企画「私のお気に入り」の連載を開始しました。旅行、コレクション、創作、スポーツ等、ちょっとマニアックな世界をその筋に詳しい病院職員が紹介していく予定です。ご期待ください。



こんな雰囲気編集会議をしています

*本号に掲載予定の「ビバ！マイホームタウン」は都合により次号に延期させていただきます。

*「しろくまニュースレター」のバックナンバーは長野県立こども病院ホームページでご覧になれます

編集後記

あけましておめでとうございます。読者の皆様はどんな初夢を見ましたか？かつての夢が現実になった話といえば、昨年AI（人工知能）が世界一の囲碁棋士を破ったニュースは衝撃でした。私などは弱～い囲碁ソフトでも歯が立たないので最初から相手にしてもらえませんが、「囲碁よ、おまえもか」とは思いましたね。それにしても最近のAIの進歩はスゴイのひと言です。ちょっと気になるころでは、もう少しでAIが医師国家試験の合格ラインに達するそうですし、遺伝子情報のような大量データの分析は人間では太刀打ちできません。とはいえ人間の感覚や常識をAIに持たせるのは難しいらしく、大学入試問題を解かせると英語のリスニングや国語の点数が伸びないそうです。なんだかホッとしますね。でもいずれは… お友だちになって仲よくしてくれるかな？

小木曾

長野県立こども病院寄附プログラム

2016年4月に開設したインターネット寄附サイトには、2016年11月30日現在3,001,659円 集まっています。(目標額：50,000,000円) 温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。



みんなのための活動をみんなで支える

公共的活動応援サイト

長野県みらいベース

長野県立こども病院「Mobile(モバイル) ICU(動く集中治療室)」 ドクターカーの更新

※長野県みらいベースは、長野県が構築した寄附募集制度です。

URL http://www.mirai-kikin.or.jp/products/detail.php?product_id=147

または QRコードを読み込んでアクセスしてください。



寄附サイトの利用方法がよく分からないという方、サイト以外のお申込み方法などは、下記事務局までお問い合わせください。

——ドクターカー更新インターネット寄附サイト事務局——

認定特定非営利活動法人 長野県みらい基金

長野県松本市大字島立 1020 長野県松本合同庁舎 1 階

松本事務所長 荊尾 幸三 (かたらお こうぞう)

TEL : 0263-50-5535 E-mail : katarao@mirai-kikin.or.jp



ご寄附いただきました方々への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。

(希望されない方を除く)

伊藤一芳、伊藤聡、高木伸之輔、備前章、小林歩・衣未、加藤恵二、堀秀行、高橋宏幸、増田景一、山岸今朝登、廣田孝平、海沼茂、(株)トーエネック松本営業所、ほそかわ薬局、アボットジャパン(株)、幸せのたねプロジェクト、協和テクノ(株)、(有)中信美掃、(株)とをしや薬局本部、(株)滝澤工務店、中央アルプス観光(株)、上條鋼材(株)、マルコメ(株)、(株)ユタカ、(株)井上、(株)スペースウェアハウス、ユートピア産業(株)、三陽商事(有)あづみ野支店、オリオン機械(株)、安曇観光タクシー(株)、(一社)安曇野市医師会、(株)サン工機、松筑エルピーガス(協業)、(株)スモト、(株)プラルト、(有)滝沢新聞店、中央石油(株)、(株)アズミ村田製作所、(医)抱生会 丸の内病院、(株)リアライズ、東海不動産、(株)りんごの木、(特非)未来の風、竹内則夫、若林喜久雄、(医)仁雄会 穂高病院、藤澤守、西巻宏行、(株)テクノ菱和 長野営業所、(医)太田皮膚科クリニック、青柳文彦、高田真由美、平林隆志、水城直人、伊藤彩乃、伊藤五月、藤森茂、望月明義、青山史朗、藤巻和成、(株)カントリーオフィス 他11名(順不同)

—募金・寄附金付商品購入による寄附—

こども病院祭、Space4323、日穀製粉(株)、(有)シュテルン、(株)アズミ村田製作所、ファルコン

—品物—

渡邊、江口、(特非)リブ・フォー・ライフ美奈子基金、国際ゾンタ松本ゾンタクラブ、中央大学学員会松本支部、太田、(株)エスアールエル、株丹

平成28年7～11月受付分(敬称略)

ご寄附いただきました皆様、本当にありがとうございました。

長野県立こども病院 外来医師担当表

平成29年1月1日現在

	外来名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
南棟外来	整形外科	二見 徹 (AM)	高橋 淳 (PM) (第2・4)	松原 光宏 二見 徹 ^{※1} 加藤 博之	松原 光宏 (AM)	松原 光宏 二見 徹 (AM)
	小児外科		畑田 智子 (AM) 好沢 克 (AM) 高見澤 滋 (PM)	高見澤 滋 (PM)	畑田 智子 (AM) 好沢 克 (PM)	岩出 珠幾 (AM)
	眼 科	北澤 憲孝 視能訓練	視能訓練	視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練 (AM)
	総合小児科	南 希成 (AM) (PM4時～5時予防接種相談)	樋口 司	樋口 司 (PM) 南 希成 (PM) (ワクチン接種)	南 希成 (AM) (PM4時～5時予防接種相談)	樋口 司 (AM)
	総合小児科 アレルギー外来	小池 由美 (PM)		小池 由美 (AM)		
	血液腫瘍科 免疫・アレルギー外来			小林 法元 (AM)		
	血液腫瘍科 血液・腫瘍外来	坂下 一夫 倉田 敬	坂下 一夫 (AM)	坂下 一夫	坂下 一夫	倉田 敬
	循環器科 (内科・外科)	岡村 達 (AM) 上松 耕太 (AM) (外科)	安河内 聰 瀧間 浄宏 田澤 星一 (内科)	原田 順和 (AM) 岡村 達 (AM) 上松 耕太 (AM) (外科)	安河内 聰 瀧間 浄宏 武井 黄太 (内科)	田澤 星一 武井 黄太 (内科)
	循環器科 成人移行期外来		元木 博彦 (AM) (第2・4)			
	リハビリテーション科					三澤 由佳 (AM)
北棟外来	精神科 こころの診療科					篠山 大明 ^{※2} (再診のみ)
	脳神経外科	重田 裕明 宮入 洋祐	重田 裕明 宮入 洋祐		重田 裕明 宮入 洋祐	
	泌尿器科 皮膚・排泄ケア外来	市野みどり		市野みどり	市野みどり (AM)	市野みどり (PM)
	神経小児科	平林 伸一 (午前は発達障害専門外来) 福山 哲広 山内 翔子 (PM)	平林 伸一 (午前は発達障害専門外来) 福山 哲広 (PM) 中嶋 英子 (AM) 服部 有香 (PM)	平林 伸一 山内 翔子 (AM)	服部 有香 (AM) (第1・3PM) 中嶋 英子 (AM) (第2・4PM)	平林 伸一 福山 哲広
	小児外科					高見澤 滋 (胃瘻・中心静脈栄養外来)
	新生児科	亀井 良哉 (AM) 中村 友彦 (PM)	廣間 武彦	関 聡子	廣間 武彦	宗像 俊 (第1・3) 柳沢 俊光 (第2・4)
	形成外科	野口 昌彦 藤田 研也 一之瀬優子 (AM)	安永 能周 (AM) (第4)	野口 昌彦 藤田 研也 一之瀬優子	野口 昌彦 (PM)	野口 昌彦 (PM) 杠 俊介 (PM) 藤田 研也 (PM) 永井 史緒
	総合小児科		竹内 浩一 (内分泌・代謝)	中山 佳子 (AM) (第1) (消化器) 水城 弓絵 (AM) (第2) (内分泌)	竹内 浩一 (内分泌・代謝)	竹内 浩一 (AM) (内分泌・代謝)
	麻酔科	大畑 淳 (AM)				大畑 淳 (AM)
	皮膚科				芦田 敦子 (AM) (第2・4)	
	遺伝科	古庄 知己 (AM11時～)	西 恵理子	西 恵理子	西 恵理子 (AM) 高野 亨子 (PM) (第3)	西 恵理子 (AM) (PM2時～)
	耳鼻咽喉科	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	横溝 道範 (AM)
	循環器小児科 胎児心臓外来		武井 黄太	松井 彦郎	田澤 星一	瀧間 浄宏
	産 科	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代
	リハビリテーション科	五味 優子 (AM) 三澤 由佳 (PM)	三澤 由佳 (AM) (第1・3・5) 五味 優子 (AM) (第2・4) 笛木 昇 (AM) (第2・4) 三澤 由佳 (PM)	関 千夏	原田由紀子	三澤 由佳 (PM)

※1 整形外科の加藤医師は3ヶ月に1回第3週のみ診察となります。

※2 精神科(こころの診療科)篠山医師は、再診のみです。外来の初診受付はしていません。

★診察時間：午前9時～午後4時

★休診日：土・日曜日、祝祭日、年末年始

★受診には、原則として予約が必要です。

予約専用電話

0263-73-5300